

令和2年度第2回 国立研究開発法人物質・材料研究機構契約監視委員会 議事概要

1. 日 時：令和2年10月29日（木）15：00～17：00

2. 場 所：Web会議により開催

3. 出席者：橋本委員長、藤野委員、文野委員、藤田委員、金井委員
対応者：谷理事、松木審議役、谷中調達室長、山口調達室長代理
畑田監事室長、稲葉監事監査係長

4. 議題

- (1) 前回委員会議事概要について
- (2) 事務連絡「特例随意契約制度の見直しについて」への対応について
- (3) 令和2年度第1・四半期の契約に係る点検について
- (4) その他

5. 議事概要

議題(1) 前回委員会議事概要について

事務局から前回委員会の議事概要（案）について説明があり、審議の結果、了承された。

議題(2) 事務連絡「特例随意契約制度の見直しについて」への対応について

ア) 事務連絡「特例随意契約制度の見直しについて」への対応について

事務局から事務連絡「特例随意契約制度の見直しについて」の内容とその対応について説明があった。また、対応については以下のとおりとする旨、メールにて契約監視委員会全委員の承認済みであることが報告された。

- ・点検対象は、従来どおり一者応札・一者応募及び随意契約事前確認公募並びに特例随意契約案件の中から、各委員が任意に抽出する。
- ・ガバナンス強化措置、特例随意契約の実施条件および見積合わせの基準の運用状況は、抽出案件および内部監査結果の審査時に確認する。
- ・一者見積り案件の原因究明および参加業者拡大策の検討内容は、一者応札フォローアップ対応策と同様とする。
- ・NIMS 監査室が、前年度に行われた特例随意契約を対象とする内部監査を実施し、その内部監査結果を委員会が審議する。

イ) 令和元年度特例随意契約内部監査報告

事務局より令和元年度特例随意契約475件に対する内部監査の結果、問題のなかったことが報告され、内部監査結果が承認された。また、今年度の監査結果を

ふまえ、次年度の特例随意契約の実施方針が承認された。

議題(3) 令和2年度第1・四半期の契約に係る点検について

事務局から第1・四半期における機構の契約状況の説明が行われた後、「競争性のない随意契約」及び「一者応札・応募案件」、「特例随意契約」の点検が行われた。

ア) 競争性のない随意契約

事務局から調査表に基づき点検対象となる契約（第1・四半期：8件）の説明があり、審議の結果、自己点検結果は了承され、真にやむを得ないものと判定された。

イ) 一者応札・一者応募案件

事務局から調査表に基づき点検対象となる契約（第1・四半期：90件、うち37件が随契事前確認公募）の説明があり、第1・四半期に係る「一者応札・応募等事案フォローアップ票」及び抽出案件の審議を行った。審議の結果、「一者応札・応募等事案フォローアップ票」における委員会のコメント付けが行われた。また、抽出案件についても質疑応答の後、コメント付けが行われた。

ウ) 特例随意契約案件

事務局から調査表に基づき確認対象となる契約（第1・四半期：75件）の説明があり、審議の結果、特例随意契約としたことにつき、問題ないことが確認された。

議題(4) その他

事務局から次回委員会の日程等について説明があった。

以上